



河井先生を囲み和気あいあいと

河井喜代子さんの創作テーマは去年今年と「近江の万葉」「大和の万葉」「紀州の万葉」「大和の神話」こういった一連のテーマが最

ろうけつ染めは手軽な手芸のひとつとして広く親しまれてきた。よその家を訪ねて藍の地に白く模様染め抜かれたのれんがかかっていたりすると、家人の奥床しさが感じられて心暖まる思いがするものである。

始まって一四、五年になるというこの教室では、それぞれが独自な感覚でオリジナルな作品を作ることを目ざし、練習にも熱気がこもっている。デザイン、意匠の力を磨くため月に一度はスケッチに出かけるといふこと。羽織や帯や屏風の図柄を見つげるために、ひとり旅に出かける生徒もいる。

デザインの形はなんでもないので、発掘できるので、毎日の生活の中で身近なところに埋もれているものを見つけ出すことを心がけてもいる。

近十年ばかり続いている。「とくに絵心がなくてもデザインはできます。ただ人マネはダメ。自分のものを作らなければならぬのですが、最初は無理なのでお手伝いしますよ。」

こうおっしゃる河井さんは暖かくてステキな先生。

九月にはさんちかギャラリーで作品展をする予定だとか。

- ・ 入会金 一、〇〇〇円
- ・ 授業料 二、〇〇〇円

★ろうけつ染め 河井喜代子ろうけつ染め教室 オリジナルな ろうけつ染め

河井喜代子 (染美会)
朝日文化教室 生田区浪花町
朝日会館6F TEL391-4617

特集 <2>

趣味の部屋

大型レジャー時代のなかで身近な趣味を心のゆとりに持たたい方のために神戸の街に根づいた文化教室のいろいろを編集部でたずねてみました。

図柄は自分で工夫する





★陶 芸

田中一郎陶芸教室

土にふれる喜びを

田中一郎

(京都工芸美術作家協会々員、現代工芸会々友、青土会々員)

元町文化学院 生田区元町通1丁目

元町ビル5F TEL391-8546

無心に製作中の皆さん、右から二人目田中先生

「ビルの谷間でできる陶芸」というキャッチフレーズで去年の九月から始まった陶芸教室は、関係者が予想していた以上の申し込みがあり、関係者を喜ばせたり驚かせたりしている。陶芸というあまり一般的でない教室を開いても人が集まるかどうかと危ぶんでいたからであるが、現在習っている人は、「前から関心をもっていた」「習いたくても窯が遠くにあるのであきらめていた」という熱心な人ばかり。元町一丁目という地の利を受けて、買物ついでという主婦やつとめ帰りという娘さんが多い。商店のご主人もおり、年令層、職業層と幅が広い。

最初はまず「手ひねり」という技術的な手の操作を覚えるため、直径十二センチ、高さ三十七センチの筒の花びんを二個作って、基本をマスターする。その後、自由作品にかかる。

いかにも陶芸家らしい素朴な田中一郎先生の指導方針は「僕はその人の個性が十分に表現できるように技術面をお手伝いするだけです」ということであり、教室全体の雰囲気はのびのびとしている。

また陶芸のおもしろさを田中先生は「土という抽象的なものから、形のある具象的なものに変化する喜び、それに、窯から取り出す時の不安と期待じゃないでしょ

うか」と語る。

残念なことに、この教室には窯がない。千日前ビル火災のあおりで、電気窯設置の許可が消防局からおりないためであるが、絶対安全であると申請しているのので、許可がおりるのも時間の問題のようだ。

習いに来ていた人に陶芸を始めよかつた点をきいてみると、食器をみる目が変わったという答えが返ってきた。陶芸に通じた人は食器の選定の心づかいがこまやかになるようである。

子供時代に土で遊んだ記憶をよびもどしてくれるのも、陶芸のよさではないだろうか。

- ・入会金 二、〇〇〇円
- ・月謝 二、〇〇〇円



力作ぞろいの作品



楽しみながら上達する水彩教室・左は上尾先生

だれもが絵を描いて楽しめるよう
 ……プロを養成する場ではなく
 ……水彩画は日本人の国民性・風
 土性にマッチしたものですからネ
 ……をひらいたりしている。

事実、昨年度のOBは水葉会と
 ……という会を結成、絵を続けて展覧会
 ……と力強く語られる。

「絵はだれでも描くことができ
 ……一年間描けば、必ず絵を描い
 ……て良かったと思うし、そこまで指
 ……導する自信はあります。」

一年間を前期（四月と八月）と
 ……後期（九月と二月）に分け、各20
 ……回、計40回講義がある。

水彩画教室の講師は、一水会会
 ……員として活躍中の上尾忠生氏。
 ……「絵はだれでも描くことができ
 ……一年間描けば、必ず絵を描い
 ……て良かったと思うし、そこまで指
 ……導する自信はあります。」

「以前から描きたかったがチャン
 ……スに恵まれなかったり、家事に手
 ……が離せなかった方ばかりだから、
 ……広い実技室も狭く感じる位、皆さ
 ……んやる気十分。キャンバスに向か
 ……う顔も真剣そのものだ。」

生徒の層は、やはり主婦が大半
 ……を占め、学生からお年寄まで幅広
 ……い年代に渡っている。

絵を楽しんで描くという人が広
 ……く県下に行き渡る……ことを目ざ
 ……し、県立近代美術館に於てひらか
 ……れているのがこの絵画教室であ
 ……る。

★絵画 県立近代美術館実技教室 初心者のための 絵画教室

水彩 上尾忠生
 デッサン 貝原六一
 日本画 大橋良三
 県立近代美術館 TEL801-1591

真剣に木炭を走らせるデッサン教室・中央貝原先生

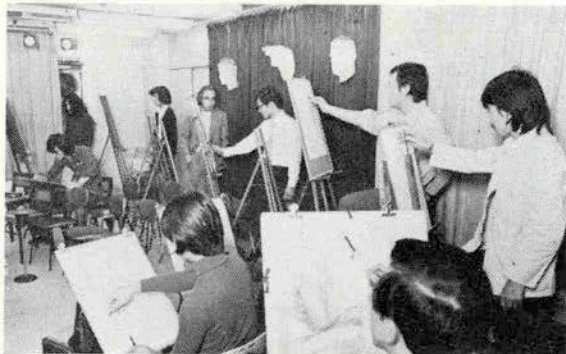


「皆さんが、ドンドン上手にな
 ……られるので励みになりますネ。よ
 ……く素人相手の教え方があるんじゃ
 ……ないかと聞かれるのですが、絵を
 ……教える場合、プロ・アマの区別は
 ……ないですネ。上手になってほし
 ……い。絵に対する関心をもってほし
 ……い。……それだけですからネ。」

と語る。

こちらのOB会は油絵をやって
 ……おり、九月にOBを含め三年間の
 ……成果を発表する予定。

- 火曜日 デッサン教室
- 水曜日 水彩画教室
- 木曜日 日本画教室
- ・ 授業料四千元（一年分）



活気あるデッサン練習

★絵画

0の会

現代美術を志向中

古川 清 (代表世話人)

0の会 生田区加納町3丁目

美専堂内 TEL221-1045

会を結成以来足かけ五年になるというこの絵画教室は、いささかユニークである。ナウである。

デッサン、油絵と一応の絵画教室のカリキュラムはあるのであるが、教室の運営が古川清氏、榎忠氏などをはじめとする十七人のメンバーで自主的にすすめられている。今年からは描くだけでなく、公開ゼミナールを持って、理論的にもつっこんだ研究が始まっている。テーマは「現代美術とは何ぞや」というむずかしそうなものであるが、古川さんは、「どうして絵をかくのか」という感想でええんや」と、ニコッと笑う。

教室全体に共同体的な雰囲気があり、自由な表現を大切にしているようである。

この教室に通う人は大半がサラリーマンで平均年齢は二十四才というのだから教室の活気がうかがわれるだろう。事実、熱っぽいのである。

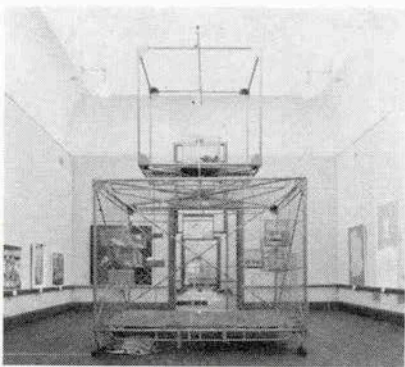
また、この会を特長づけているのは、屋外での作品発表である。イベント展、ハプニング展とも呼べそうな作品をつくる傾向が出てきつつある。ちなみに、今年の京都アンデパンダン展に、0の会は「人間狩り機」というねずみ取りを大きくしたような作品を出品している。それに、昨年、神戸まつりでは布地をたくさん使っ

て東遊園地の噴水にかけるなど、奇抜なアイデアを発表して見物の人たちを喜ばせたりしていた。

ただ、0の会にとって悩みなのは、神戸では現代美術の土壌がないということである。東京や京都に比べて、文化的に若い人の発言力が小さいことが影響しているという。それで、作品発表を神戸ではしにくいというわけで、神戸のグループでありながら、グループ展「0」を七月に大阪の信濃橋画廊で開くことになったというのは、はなはだ残念である。

このようなユニークな絵画教室というより絵画グループは、神戸の文化の発展のためにも、ますます伸びやかに活動してほしい。

- ・入会金 五〇〇円
- ・月謝 一、五〇〇円



「人間狩り機」



自宅の教室で、作品は豪華な花嫁衣装

伝統的な手法も良いが常に新しい感じのものを求め、勉強される

上品な方。

「その作品はもう10年も前に作りましたのよ。」
といわれるから二重の驚き、小さい頃から針を持つ事が好きだったといわれる先生は、戦争で医者であったご主人を亡くされ、趣味でやってらした手芸を人に勧められ教える様になられたのだそう。英国人三浦レオニー先生に基礎をみっちり教わり、色々工夫されたユニークなステッチを数多く生み出された。だから、作品には夢があり、他の刺繍には見られない立体感のある作品が多い。
生徒さんも20年以上のおつきあいの方々若い方まで幅広く、先生の人柄を慕い新幹線を利用して東京から来る生徒さんも幾人かあるとか……。「贅沢でするのではなく、生活に潤いを与えるため、自分の手で作る楽しさを味わいながらやる……という事が一番ですネ。」と語る西浜先生は、とても

★欧風手芸

西浜恭欧風手芸教室

新しいステッチの 発見を

西浜 恭

神戸国際会館 芸術教室5F TEL251-8161

豊中の閑静な住宅街の一角にある先生のご自宅を訪れ、まず目を奪れるのは鮮やかな色彩にあふれた先生の作品の数々。
玄関マット・タペストリー・ソファーカーバーetc色彩には一言ある私も思わず見とれてしまう美しさだ。

「その作品はもう10年も前に作りましたのよ。」

といわれるから二重の驚き、小さい頃から針を持つ事が好きだったといわれる先生は、戦争で医者であったご主人を亡くされ、趣味でやってらした手芸を人に勧められ教える様になられたのだそう。英国人三浦レオニー先生に

作品は、近代建築にも合うモダンなものから日本間にもあうシックなものまで多種多様。素材も市販の刺繍糸だけでなく、ビーズ・サマーヤーン等、多材質のものを扱う。
年に一回阪神百貨店で開催する作品展も今年で27回目。

これという教材を決めず、初めは簡単なステッチのものから大作に至るまで生徒さん各自の個性に合わせて、指導なさるとい。また、マスコミ界でも有名な先生は、ヘチマ芯を使った鯉のほりや縄飛びの縄で作った傘など楽しいアイデアあふれる作品をよく発表される。

「自分で作ったものには愛着があつて手離せないですよ」と、一針一針心こめて仕上げてゆく。

制作中の西浜先生



国際会館芸術教室5F
第一・第三月曜日
午前十時～十二時



長浜先生(左)を囲んで手づくりの花をつくる

★アートフラワー

フラワリングながはま

永遠の 生命をもつ“花”

長浜 律子

灘区篠原北町3丁目13 TEL 881-8500

「薔薇に始まって薔薇に終る。というとおり、一番むずかしいのは薔薇ね」といいながら、手際よくバラの花をつくる長浜先生。見る見る可憐な五分咲きのバラがでさあがる。

このアートフラワー教室は、既製品は使わないで、白い布を自分で染色し、カットし、こてを当てて形づくる。

同じ染料を使用しても、人それぞれ個性が出て、違った色合がもしだされるというからオモシロイ。

カラフルで発色のいい作品が多い。ドイツ染料を使用し、数は三原色と補助色三色しか使用していないそうだ。

先生はアートフラワーをやり始める前に日本画をやっていたそうだが、微妙な色使いやデッサンの確かさにも、基礎の充実がうかがえる。

生の花に近いものが完全にできるようになったら、自分でクリエイトし、現実にはない花でも何でも作らせるといふ教授法。土壌が豊かでないといふ花が育たないのと同じで基礎を重視する。

「生の花には、生きて枯れてという生命がある。自分で創り出した花にも生命を吹き込んでやることで創造の喜びにつながると思うわ」

神戸の花あじさいもこのとおり！



と、明るく語る。底ぬけに明るい人柄で、先生自身小気味のよい「ひまわり」を思わせる。

四季の花なら、レパートリーは二百を数えるそうだ。

活け花として利用できない花をも、生きた花として使うことができる利点のあるアートフラワー。余暇を活用した主婦や、ヤングレディで教室は花園の様な雰囲気だ。年に一回以上、展覧会を行ない、時々、愛娘達のドキリとする批評もあるそうだ。

元町教室(元町一丁目
ファーストビル内)

鶴甲教室(鶴甲会館文化教室)

西宮教室(富士銀行西宮支店)

芦屋教室(芦屋市民会館)

その他、六月には

☆六甲教室(メイン六甲B-3F)

〔国鉄六甲道駅前〕

がオープンされます。

★料理

オリエンタルホテル料理教室

本格派の西洋料理を

オリエンタルホテル

オリエンタルホテルBIF 生田区京町

TEL 331-8111



きょうはオープン・サンドです

今から約一〇〇年前、神戸港に着く外国人のためにフランス人が建てたのがオリエンタルホテルの始まり。東京の帝国ホテルとともに日本では草わきのな伝統あるホテルである。現在の料理教室の前身であるすみれ会の歴史も長く、旧館の時代から二十年近く続いているという。顧客と街の人へのサービスとして始められたすみれ会というのは、コック長が細かな説明とともにワンコースを生徒の前で作って見せる。生徒はメモしながら講義を受けた後、ボーイのサービスを受けながら今教わった料理を賞味するというもの。

この教室は西洋料理が専門、指導にはコック長はじめ幹部コックがあたっている。生徒の中には、会社を辞めレストランを始めたいという男性や料理屋の息子、他の料理学校の助手など男性も数人混じるといふ。

普通課クラスのあある日の授業。

蛤のチャウダー

ランプステーキ、スイス風

フライドポテト、パリ風

人参とライマビーンズの

バター煮

ホテルの料理そのままだと家庭で作るのは大変、授業では実習でできる範囲で家庭向きにアレンジしたものが選ばれる。ホテルではカレーひとつにしても、それはたい

へん手間をかけているという。教授にあたってはコックさんの話では、最近の女性は以前に比べると料理の腕が落ちたように思えるということ。たとえば包丁の使い方、魚のおろし方など昔なら家で見よう見まねで覚えてしまふ基礎的なこと。教室では調理の方法と同時に、料理のコツ、センス、それにきれいに手早くすませる手順も学ぶことができる。

普通課 入会金三、〇〇〇円

(週一回) 会費(月)一、五〇〇円

材料費(ヶ月)一、五〇〇円

研究課 入会金一、五〇〇円

(週一回) 会費(月)一、五〇〇円

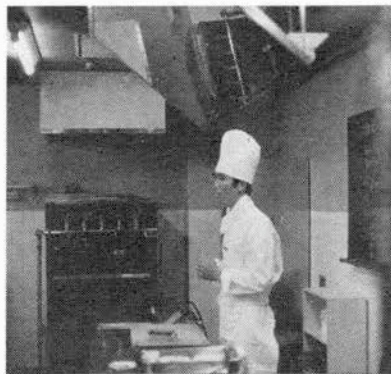
材料費(ヶ月)二、二〇〇円

すみれ会 入会金五、〇〇〇円

(月一回) 会費 六〇〇円

材料費一、五〇〇円

楽しいコックさんの講義



三宮センター街本店



※お食事は…

静かなテーブルで!

*タイムランチ (スープ付)

250円

(平日AM11:50~PM 1:30まで)

*憩いのひとときを…

喫茶室で!

*贈物には…

おいしい洋菓子を!



北欧の銘菓

ユーハイム・コンフェクト

本社・工場・熊内店/神戸市灘区熊内町1の35 (市立美術館東隣) TEL 221-1164

三宮センター街本店/神戸市三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン) TEL 331-2421

さんちが店/神戸市三宮地下スイーツタウン TEL 391-3558

O-SHIBATA



BY DORMEUIL



柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南

神戸 341-0693

大阪・高麗橋2丁目

大阪 231-2106

限りなくひろがる静寂の中に 時がゆっくり流れていく
ロマンの世界に遊びます。



ゴンチャロフ
Goncharoff
心と心を結ぶ手づくりの味

MAKE UP WITH ROYAL!

今年の夏は女らしく
白いかもめのように
気軽に自由にあなたを
演出します。

舶来

ファッション

サングラス



神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎(321)1212代表
三宮店・さんちかタウン ☎(391)1874~5

元町店は毎水曜日がお休みになりました
三宮店は第3水曜日が休みです



★宝石・彫金教室

ジェエルメイト

あなたの手で アクセサリーを

更科 俊允

生田区中山手通1丁目
今井ビル4F TEL231-5554

男の子ばかりでなく女の子もたくさんいるんですよ

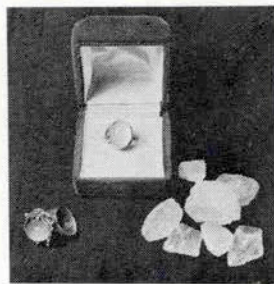
ファッションが多様化するにつれて、付属品であるアクセサリーも注目され、個性的なオリジナルを求める人が多くなるとともに宝石教室というちょっと変わった教室をのぞいてみたいという人もいることだろう。

中山手通二丁目のにしむらこーヒー本店の東隣にあるこの宝石教室は、十数年前に全国で二番目（最初は東京）に開かれたということ、神戸では歴史が最も古い。現在社長である更科俊允さんはこの教室を四年前に受け継ぎ、金子真珠の工芸担当主任である寺崎善行さんと二人で指導にあたっている。

この教室は、原石の研磨からカット、仕上げまでを指導してくれるので、技術的にかなりレベルが高いといっている。もちろん彫金のアクセサリーだけでなく、宝石と彫金の組み合わせなど、複雑なものも作れるということだ。

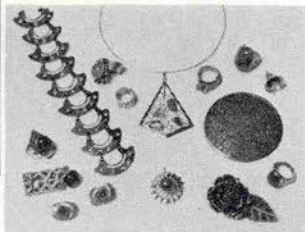
習い始めの一、二回は、ノコの使い方やバーナーの火加減などの基本的な道具の扱い方を習得しなければならぬが、何をつくるかということになれば、生徒の創作性を大切にするという方針をとっており、オリジナルな作品を楽しんでつくることができる。

この教室で教え出して二年半に



写真右の原石を研磨すると左の作品に

ネックレス、ブローチ、指輪などの宝石と彫金が見事に調和した作品



なるという寺崎さんは「この生徒さんは、デザインは大胆でいいものを考えどんどん進んでいくのに、実際にそれを作り出すまでの技術的なものももう少し足りないですね。だから、アクセサリーを作っていくうちにデザインが簡単なものに変更されるといってもあるんですよ」と、感想をのべ、技術の習得も大切であるが、教室全体の雰囲気は家庭的でなごやかであり、更科社長夫妻を中心に趣味を通じて人間関係を育てていきたい意向も伺えた。

・入会金 二、〇〇〇円
・月謝 三、〇〇〇円



梅谷先生を囲んで批評会

★木彫教室

「はこぶね会」

自然の風合を木彫りで

田尾 遼・梅谷次子

鶴甲会館2F TEL 851-5850

身のまわりのものを自分自身の手で彫ってみたい。心のこもった手づくりのものをプレゼントしたい。という人達の集いが、この鶴甲会館木彫教室だ。

この教室は場所柄、団地に住む方が多く、大半は主婦で、余暇を利用している。

一年間はみっちり基礎をやり、あとは能力に応じ自由作品をやるという。最初は、小物掛け、温度計etcの小品に始まり、後は家具等の大物をアタックするそうだ。

この教室も、若い時からやりたかったけれど、機会に恵まれません、子供の手がやると離れて望みがかなえられなかったという生徒さんが多く、皆さんとても熱心。

あまり一生懸命に刃を持ちすぎで、手が痛くて包丁が持てなくなつた。……とは主婦らしいエピソード。

「はこぶね会」を主宰している田尾遼先生は、武蔵野美術大学美術工芸科を卒業後、創作活動に入り、42年に会を結成された。

「現代文化の中から、流れに流されず、人間の原点にもどる」という意志のもと、『ノアのはこぶね』から引用し、命名したそうだ。

「創」ということが、すべてですネ。一つの固定観念にとらわ

田尾先生による直接指導



れず、内面的な本ものを見つめる……そういう意味で自然の木材は魅力ある素材です」
と熱っぽく語る。

忙しい先生を補助するのは、この教室の専任講師の梅谷次子先生
「生徒さんの技術を磨くことはもちろん大切ですが、グループとしての横のつながりも大切に、親睦を深めて楽しい雰囲気の中で制作することも必要だと思っんですよ」とは梅谷先生の弁。

「阪神間の木彫仲間は、約六百名いると思うんですが、皆で木彫の館など創りたいと思えますね」と田尾先生の夢は大きい。

神戸市内では、他にそごう三宮店、教育会館、須磨公民館、垂水年金会館等で教室が開かれています。

鶴甲会館木彫教室

毎木曜日・午前九時〜十二時



桐塑人形のほか押絵や日本人形の指導も・左から三人目畑先生

★創作人形

畑マス子創作人形教室

ひとつの形を 生み出す喜び

畑マス子（日展所属・兵庫県工芸作家協会委員）

元町文化学院 元町一丁目元町ビル5F

TEL 391-8547

桐塑人形というのは桐の木の粉を素材とするもの。桐の箱などを作る時にできた粉にノリを混ぜて粘土状にしたものを使って作る人形である。大正時代の未だに考案されたということでは新しいものだが、それだけに制約がなく、形も素材もテーマもすべて自由。素朴で土俗的な人形、ひな人形、あるいはスマートでシャープな人物、前衛的な抽象のものなど伝統的な材料、技法に新しい形、精神をどう定着させるかが問題とされる創作人形である。

創作人形は総合芸術だから、デッサンや彫刻など他の美術を勉強し、いい作品を観ることが必要となる。与えられた形、材料を用いての技術習得に終始する人形教室が多いなかで、この教室では土から始めて、自分の形を作り出すことが特色。それだけにこの桐塑人形は容易に作れるものではない。「生徒には桐塑人形だけを強要するのではなく、押し絵や日本人形、ぬいぐるみなど好きなものを選んでもらいます」と先生はおっしゃるのだが、それほど桐塑人形は面倒で根気を要するものだということだろう。早い人でも習い始めて四、五月たたないとひとつの人形を仕上げることはできない。むしろそれは形や材料の指導を受けて作るのだから、まだ創作人形

といえるものではないというのに。手っ取り早くおもしろいもののみもてはやされる昨今、人形作りの手間と情熱は貴重な厳しいものに思える。自分の手でひとつの形を創造する喜びははかりがたいものに違いないのだ。

日常の生活の中の子どものある瞬間の動き、人間のひとつの表情、身近なものの感動が人形を創作する時の題材になるとおっしゃる畑マス子先生は、日本人形を思わせる、とてもやさしい方と見うけた。

・練習日 元町文化学院

火曜日 二時～四時三〇分

六時～八時三〇分

・三宮教院・イヅの会文化教室内

交通センタービル山側

TEL (三五二) 二五四〇

木曜日 二時～四時三〇分

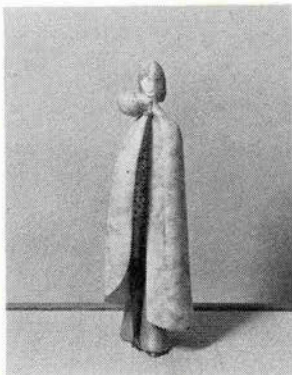
六時～八時三〇分

・入会金 二、〇〇〇円

・授業料 二、〇〇〇円

・教室費 一〇〇〇円

伝統的な技法と新しい感覚で



★ホームソーイング
KIF 土曜教養プログラム

アイデアで楽しい洋裁

国中富樹子 (神戸ドレスメーカー女学院教授)

生田区加納町2丁目

神戸ドレスメーカー女学院内 TEL 241-8611



洋裁の苦手な人もつい夢中になって

五月から神戸ドレスメーカー女学院で、KIF土曜教養プログラムの一つであるホームソーイング教室が始まった。

この教室の目標は、プロを自覚した本格的な洋裁でなく、創作的な楽しい家庭洋裁にあるので、市販されている型紙を上手に使うことで多くの洋服を縫うことに重点をおいている。担当の国中富樹子先生は、「バストが九号サイズでヒップが十三号という人もいますでしょう。そんな人は、既製の九号の型紙か、十三号の型紙かどちらを使ったらよいか迷うでしょう。そんな人に、型紙の修正の仕方とか応用の方法を覚えてもらいたい。それなら製図がおっくうな人でも、楽しく洋裁ができるでしょう。とにかく洋裁のむずかしい理論はぬきにして、楽しんでやってもらいたいですね」と、意欲を燃やしている。

布の残り切れの利用や、古着のリフォームなど、洋裁に関することならなんでも結構で、みんなアイデアを出しあって、ホームメイドの味をもった作品をつくっていく方向ですすめられるよ
うだ。

アイデアといえ
ば、国中先生が次の
ようなエピソードを

話してくれた。「私の妹が主人のセーターを買ってきたものの、サイズが小さくて困っていたのよ。それで思い切って袖を落して、ベストにしたんだけど、袖がもったいないわね。私、それを見てて、袖を二つあわせて、袖口のまわりをぬったのよネ。それを、三才の男の子のズボン下に使っているのよ」こういう調子で、国中先生は楽しく洋裁をみんなで作っていきたいと強調される。

また、前々から個人的に外人に洋裁を教えてもらえないかと頼まれていたとかで、あわせて通訳付の外人向教室も人数がそろい次第の子供用既製服は装飾が多くて実用的でないという彼女たちが、自分の手で子供服をつくりたいためだそうで、「考えさせられました」と、先生は今から構想を練られている。

- ・入会金 三、〇〇〇円
 - ・月謝 二、五〇〇円
- (但し、外人教室は
四、〇〇〇円)



上着、パンツロン、ミトンと
そろいの作品



楽しい郡先生の講義

★ニットイング

郡あきニットイング教室

オリジナルなニット

郡 あき

サントア文化センター教室 TEL 331-8029

兵庫県民会館文化教室 TEL 321-2131

モード雑誌をバラバラとくるとステキなニットが必ずといっていいほど目にはいる。着やすく軽くシワにならないetc.: ニット製品は今や女性のファッションプラシにかかせなくなってきた。

そんなニットを基礎から応用まで修得できるというのが郡あきニットイング教室。私も一日入門をおねがいしてみた。

「郡あきという名や作品のイメージと全然ちがうでしょう? 出版社の方にいつも言われるのよ:」と、笑って語る先生は、常に半年・一年先の流行を見つめるファッションの最前線にいる方とは思えない気さくで庶民的な方。

ちなみに先生は「若い女性」「婦人倶楽部」の専属デザイナーで、日本の誇るニットデザイナー秦砂丘子さん主宰の白南風社の理事としても活躍中である。

「編物は人の気持ち、人柄が反映するものですから好き・根気・器用・感覚の良さは最低条件として必要ですネ」と、笑顔の中にもきびしいことば。

「色彩の秦砂丘子」と言われる秦先生に認められ「色彩賞」を受賞して以来20年。

兵庫県編物振興協会を結成、全国に通用する検定試験(文部省認定)をつくったり、白南風社の関西支部総務部長として着実なあゆ

初夏向ワンピース



みをつづけている。

教室には機械編み科(予科・本科)手編み科(かぎ針編み・棒針編み・アフガン編み)がある。

それぞれカリキュラムを組んで色々な作品を制作しながら技法のポイントをつかむという教授法である。

「やりたい方は両方やってもいいんですよ。課題をドンドン消化して、つぎつぎ勉強をする方、大いに観迎」とのこと。

月に一回「ファッションについて」とか「ニットウェアのための基礎から配色応用及デザイン法」などの講義があり、専門家の養成にも力を注いでいる。

「若いお嬢さんの中にいるから楽しいし、何でも言いたいことを言いあっているのよ」と本当に楽しそうに語られる。教室の雰囲気も花が咲いたように明るくニットを楽しむながら学べる所である。

入会随時、入会金二千元

月謝 週二日制 三千五百円

週一日制 二千五百円



形も色もさまざまな楽しいキャンドル

「手近な材料を用い、形は自分で見つけ、あくまで手作りのおもしろさを工夫するのです。」こうおっしゃる沼田かずるさんが、教室では実際の指導にあたっておられる。作ろうとする形や燃え加減によって三種のロウの混ぜ具合を調合しなければならぬので、この基礎の理屈だけを教示すれば、後はすべて個人の獨創性にまかせられるが、初めての人にもすぐ自分独自の形、色のロウソクを作る事ができるそうである。いろいろなキャンドルを見せてい

★手づくりのキャンドル

月見山キャンドル教室

心なごむともしび

宮田 孝・沼田かずる

月見山美術研究所 須磨区月見山本町

TEL 732-6322

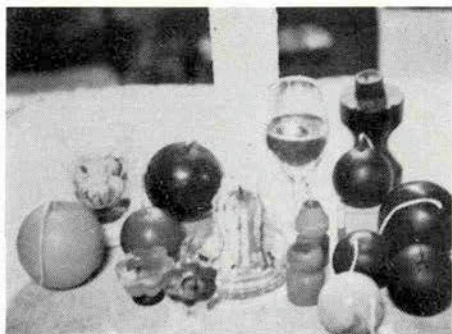
昨年の11月、神戸ではじめてのキャンドル教室が開かれた。

現代は「冷照明の時代」だと、講師である二紀会の宮地孝さんはおっしゃる。昼も夜も、部屋の内外も外も人工照明のせいで変わっていない現代の生活。こんな時代において、なおロウソクが絶えてしまわず、依然好まれ重宝されるのは、我々の遠い祖先、原始の時代の人間が洞窟で暮らしていた頃の「まの炎」に対する郷愁が、我々の内にも息づいているからではないか。生きもののようにうごめく火、その周りで食事し、談笑し、踊り明かしたそんな自然の火を我々の生活にも生かせないものか。そんな考えが手作りのキャンドルを楽しみ、またキャンドル教室を開く動因になったということだ。

ただいた。火を灯すと白い胴の上
部から溶け出すロウが赤や青、色
の涙を流すキャンドル。イースタ
ーエッグ。真黒なボール型の爆弾。
夏には水をはったグラスに浮かば
せ火を灯して演出を楽しむ。

ロウソクの火というのは思っ
て以上に長持ちするものだ。あ
まりステキなので燃すのが惜しく
て、宮地さんの灯してくださった
キャンドルの火が揺らめくのをコ
ワゴワ見ていたのだが、三十分や
一時間ではほとんど形は変わりの
ないまま。燃える火を見ていると
神秘的な想いとらわれ、帰り道は
なんとなく豊かなない気分……。
・実習日 土曜日午後二時～五時
・製作室費 一回五〇〇円

(材料費別)



カラフルなキャンドルの作品



モデルを使つてのクロッキーに熱中

か希望が出てきますから、僕はそ
 いてうちにこんな絵が書きたいと
 描いたらいいですよ。描いて
 の教科書を使つて勉強している。

中西先生が「最初は気軽に楽し
 性ある魅力的なスタイル画の表現
 まで、研究科コース(制限なし)

——ゼミナー形式を取りプロフェ
 ッショナルな専門的教育システム
 と、充実しており、中西先生作成
 業界で通用するイラストやデザイ
 ン画を指導しているからである。

また、色彩、流行、繊維材料、
 カッティング理論などデザイナー
 に必要なデザイン講義も併設され
 ており、この教室は多数の卒業生
 をファッション業界に送り込んで
 いる。

今から三、四年前、スタイル画
 がちょっとしたブームだったこと
 を覚えている人も多いだろう。

中西省伍スタイル画教室も当時
 生徒の数が急激に多くなつたが、
 現在は三十人前後で、熱心な生徒
 が多い。それはこの教室がプロフ
 エSSIONナルなスタイル画習得を
 目標にしており、観念的でない産

人の要求の方向の中で、個性に
 あつた教え方をと考へています」
 と話されることからわかるよう
 に、気さくに生徒とつきあつてい
 る先生の方である。

行事としては、作品発表展、ク
 リスマスパーティがあり、ハイキ
 ングなどで、生徒間の親睦も大切
 にしている。励みになるのは、作
 品発表展の時に、服飾産業界から
 賞が出ることである。オールスタ
 イル賞、ジャバ賞、ワールド賞な
 どがあり、発表展が近づくと、ペ
 ンを握る手によりいっそうの力が
 こもる。

これからはより高度、より専門
 的に教へていきたいと豊富を語る
 中西先生の目が輝いていた。

- ・ 入会金 三、〇〇〇円
- ・ 月謝 二、〇〇〇円

- (一教室出席の方)
- 二、八〇〇円
- (二教室出席の方)



一人ずつアドバイスする中西先生

★スタイル画 中西省伍スタイル画教室

ファッション文化を 先取りして

中西省伍 (日本デザイン文化協会理事)

神戸教室 兵庫県民会館内 TEL 321-2131

教室事務所 サロン・デ・モード中西内 TEL 321-3707



まずお辞儀のしかたから

礼儀作法というのは理屈でなく体で覚えてしまわなければならぬ。最初教室に来た時には立ったまま、挨拶もスムーズにできなかった女性が、何回かおけいこを重

「礼儀作法といっても何も特別難しいいきまりがあるわけではないですよ」
さわやかな夕刻、三宮の教室を訪ねると、紫水遠州流家元西田祥風先生は典雅なたたずまいでこやかにおっしゃった。日頃、無作法をもって自ら認める私、かなりの覚悟で出かけたのだが先生の親しめる応待に会ってすっかりくつろいでしまった。
他に頼るべき教科書もなく、この作法は京都で育たれた先生が毎日の生活の中でお母さまから教わり受け継いだものが基礎になっているということ。礼儀作法とは周りの人への思いやりであり、心のおしゃれたと何うとしごくあたりまえな、ちっとも面倒なものではないと思えてくる。それを知っていることで自分自身に対するある種の自信、オドオド困らなくてよい安心がその人のふるまいに優美さを与えてくれるのだろうか。頭の中ではわかっていると言おうかドウショウと迷っているうちに時機を逸してしまい、後で顔を赤らめた惨めな思いは誰もが経験するところである。

ねるうちには巧まず、自然な礼儀を身につけてしまうそう。親しい家を訪ねていとまごいする時、自分でも思わず座り直してさようならを言ったんですよ、とうれしそうに報告した女性もいたとか。
教室の内容は言葉の作法、日常の動作、訪問の作法、おもてなしの作法、贈答の作法、祝い事の約束など、ほかに華道、茶道、着つきの教室もある。

サントア文化センター教室以外に、家元教室（国鉄本山駅浜側）明治生命ビル教室、住吉神社教室、住吉公民館教室、本山北教室がある。

- ・入会金 二、〇〇〇円
- ・月謝 作法と煎茶 四、二〇〇円
作法のみ 三、〇〇〇円

にこやかな西田祥風先生



★礼儀作法

紫水遠州流礼儀作法教室

人と人の心を大切に

西田祥風（紫水遠州流家元）

サントア文化センター 三宮センター街西入口

サントアビル6F TEL 331-8029

こんにちは赤ちゃん



芦屋市松浜町／中島佳代ちゃん

完全看護★冷暖房完備★病院前駐車可能

芦屋 柿沼産婦人科



芦屋市大柁町1番18号
国道芦屋川電停東50米(明治生命南)
☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

幼児歯科・小児歯科

佐本歯科

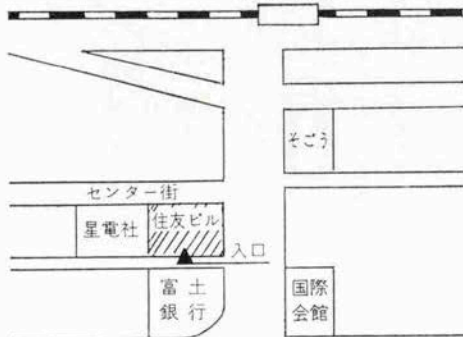
初診日 火曜日 午前10時
金曜日 午後2時

●電話での御予約を承っております。
(土曜・木曜は休診)

そごう前センター街東角・さんちか入口
住友銀行三宮ビル6階

TEL(078)331-6302~3

国鉄三宮駅



〒650 生田区加納町 5丁目39